

バイオマス丹波篠山は

SDGsの目標達成に貢献します



昨年の夏は記録的な猛暑で、篠山でも猛暑日が10日を超えました。台風や集中豪雨も猛威をふるい、

篠山にも土砂災害特別警報発令。倒木・山崩れが市内でも各所で見られました。地球温暖化とそれに伴う異常気象が原因とされますが、山の手入れが行き届いていないことがもうひとつの原因です。



バイオマス丹波篠山は間伐や里山整備に力



を入れ、篠山に災害に強い元気な森を取り戻そうとしています。元気な森は地球温暖化の原因となるCO₂をたくさん吸収してくれます。



間伐や里山整備で伐採された木は割り箸やクデジャーなどに加工するほか、薪やペレットを作り販売しています。薪やペレットは地上のCO₂を増加させない（カーボンニュートラル）再生可能エネルギーです。



ESD(持続可能な開発のための教育)のお手伝いも



Goal4に示されているESD(Education for Sustainable Development)にも一役。間伐体験学習や森林環境学習など、西紀小学校や多紀小学校でお手伝いさせていただいています。



SDGs(エスディーエス)って？

Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称であり、2015年国連サミットで採択された2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール(下図参照)・169のターゲットから構成されています。



日本政府も全閣僚を構成員とする「SDGs推進本部」を設置し、『SDGsアクションプラン2018』を決定、取り組みを進めています。

来年に迫ったオリンピック、環境や人権に配慮した東京五輪にするため、大会組織委員会はSDGsの掲げる17の目標に沿い「会場などの電力は全て再生可能エネルギーを活用」「食品ロスを減らす」といった具体的な目標を設定しています。

日本政府も全閣僚を構成員とする「SDGs推進本部」を設置し、『SDGsアクションプラン2018』を決定、取り組みを進めています。

合法木材供給事業者に認定

世界と日本の森林を守るために

取り扱う木材の合法性の確認が必要です

毎年排出される CO2 等の 1/5 は違法伐採などによる森林の減少によるもので、地球温暖化の原因となります。

さらに、違法に伐採された不当に安い木材やその加工製品が流通することにより、持続可能な森林経営のもとに生産された木材やその加工製品の流通が阻害される弊害があります。



全国木材組合連合会 合法木材ナビより転載

平成 29 年 5 月「クリーンウッド法」がスタート

合法性の確認された木材の流通や利用を進めるための法律です。合法木材とは生産地で正規の許可を受けて伐採された木材を木材業界が証明している木材です。

バイオマス丹波篠山は、昨年「合法木材供給事業者」認定を申請し、審査の上 11 月 1 日申請が認められました。



クデジュー作品展示会・ペレットストーブ展示会

篠山市民

昨年 10 月 26～31 日、篠山市民センターで開催。多くの来訪者の目を留めさせていただきました。

中心日の 28 日(日)には

ペレットストーブ設置相談会・クデジュー製作体験会

ペレットストーブ設置相談会：ストーブやペレットの値段、市からの補助、煙突が不要なこと、操作が簡単なことなど、色々と説明させていただきました。

クデジュー製作体験会：実際にクデジューを適当な長さに切って、自宅の空きスペースにぴったりな棚を組み立てて持ち帰

られたご夫婦など、いろいろ体験していただくことができました。



チェーンソー取扱安全講習会

2月16(土)17(日) 野間の里山・公民館で開催



22名という多数の受講者を集めてチェーンソー取扱安全講習会を開催しました。コマツ教習所の出張講習として「伐木等の業務（チェーンソー取扱）特別教育」を実施していただきました。

16日は8:30-17:30、17日は8:30-16:00とみっちりつまった講座をみなさん熱心に受講されていました。受講者全員が晴れてチェーン

ソー資格を取得、「特別教育修了証」受け取られました。



木の駅体験研修会

2月23(土)9:00-15:00 野間で開催

チェーンソー講習会の翌週は、同じく野間にて木の駅体験研修会。チェーンソー講習会参加者の7名を含む8名の方が参加されました。

ロープウィンチを使った伐採木の搬出体験や、垣屋の木の駅への搬入体験など最後まで熱心に取り組まれていました。



センター

真冬の市民フェスタに参加

1月27(日)篠山市民センターで開かれたフェスタ（「市民センターまつり」）に今年も参加。2つの展示と1つのワークショップを展開させていただきました。

1つ目はもうフェスタ定番のペレットストーブホカホカ暖房展示。雪の残る西玄関前ではありましたが、テント内のペレットの炎に惹きつけられて、興味深そうに覗き込む人が次々。



2つ目は「間伐体験学習」写真展示「かんぱつってなーに？」。毎年NPO事務所の地元、西紀小学校でお手伝いさせていただいている間伐体験学習。紙芝居形式の学習教材をそのまま展示しました。



3つ目はフェスタ初顔見せのクデージュ製作ワクワクワークショップ



ワークショップには大人も子供も男女を問わず参加され、小さな飾り棚の組み立てに挑戦。作品は完成

の笑顔とともにお持ち帰りいただきました。

200cm×20本セット 10,000円

クデージュ (1本 500円)



お問い合わせは NPO 法人バイオマス丹波篠山

☎079-593-1150 FAX 079-593-1377

新生「丹波篠山市」を応援します！

昨年11月18日、約70%もの高投票率で全国的に注目された住民投票により、「丹波篠山市」への市名変更が決定しました。



5月1日の「丹波篠山市」誕生に向けて、様々なイベントが計画される中、1月16日には慶應義塾大学大学院教授・岸博幸氏の市名変更の意義を考える講演会がありました。氏の主張は「丹波篠山という名はそれだけでイメージがわいていい。5/1というタイミングもいい。変更自体が話題となったイノベーションの第1歩だが、第2歩目が大事。篠山には強い農業と城跡や街並み・伝統がある。それをどう新しい形に進化させ、市外の人たちにどう訴えるかにかかっている」というものでした。

市名変更に関しては、商工会、農協、観光協会、旅館組合、商店街連合会など多数の団体から要望が出されていたようです。市名変更が決まった今、機を逃さずイノベーション第2歩目をどう打ち出すかが、各団体・各企業や所属する各個人に問われています。

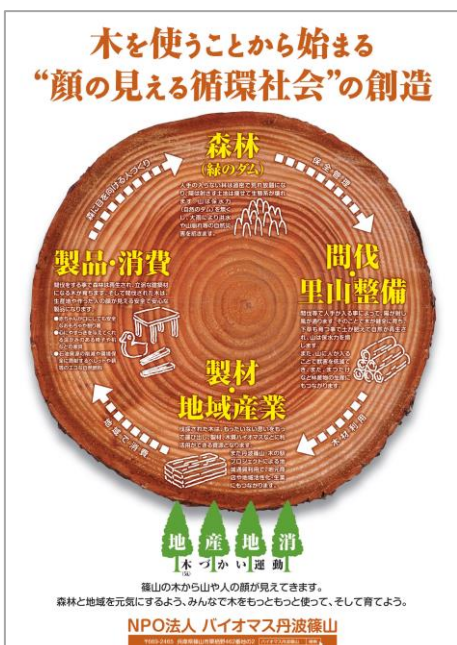


みんなで「丹波篠山」を発信しよう！

人ごとに、団体ごとに、企業ごとに、それぞれの立場から、それぞれのやり方で丹波篠山の魅力を発信しよう！

平成のその先の時代に向けて、丹波篠山という名前を、丹波篠山の文化を、丹波篠山の街並みを、丹波篠山の山並みを、丹波篠山の田園風景を、丹波篠山の里の幸を、丹波篠山の山の幸を、丹波篠山の作り物を、全国に向け、世界に向けてアピールしよう！

バイオマス丹波篠山が挑むのは古くて新しい丹波篠山です



古来丹波篠山でも人々は里山を暮らしに無駄なく活用して、柴刈りや落ち葉掻き、定期的な伐採などの手入れを行い、すこやかな森を持続させてきましたが、今やその習慣は消えて久しいと言えます。

第1面のSDGs記事でも触れた通り、地球温暖化と異常気象による危機が迫る現在、バイオマス丹波篠山は、人と自然環境の持続可能な関係の復活に挑戦します。間伐・里山整備と搬出された木の有効活用により、持続可能な循環社会の創造をめざします。

